

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ひろば		
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 4 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 4 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育室が広く、個々に自由に活動できる。	集団でも、一人遊びでも、密にならずに自由な発想で活動することができる。 広く見渡せるので、危険を察知しやすい。	行動を制限することなく見守り、自由な発想を生み出せるよう導いていく。 ルールや順番を守るよう、イラストや線で目から取り入れることができるよう環境を整えていく。
2	保護者様、ご利用者様との信頼関係	ご利用者様、個々の特性を把握した上で、その日その日の状態を観察して寄り添っている。 体調面や精神面で気になったことや相談したいことなど、送迎時や電話などでお伝えしている。 意見が偏らないよう、スタッフ間での情報共有をこまめにし、柔軟な対応ができるよう考慮している。	保護者様の協力に感謝する気持ちを忘れず、情報共有を継続できるような取り組みをしていく。
3	経験豊富なスタッフが多く、子供たちが安心できる環境を整えることができています。	意見に偏りが出ないよう毎日のミーティングでの情報共有を欠かさず行っている。 疑問点があればマニュアルを作成し、個々に保管、または事務所内にファイリングや掲示して必要に応じて閲覧できるようにしている。	スタッフの要望に応じて、問題点の取り組み方の改善を目指す。 研修内容を提案し合い、スタッフ全員で取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校との連携が充実していない。	バス停お迎えのご利用者様や通常級に通うご利用者様の担任の先生と交流がなく、情報共有が難しい。 保護者様からの情報のみとなっている。 学校側も忙しいと思い時間が合わず、連絡を取り合うのも躊躇してしまう。	放課後等、学校の負担にならない時間帯に電話などで交流を試みる。
2	障がいの特性が様々だったり、年齢層が幅広いため、活動内容に偏りが出てきてしまう。	集団行動が苦手な利用者様が多く、個々の活動が特化してしまっている。 どの年齢に標準を合わせるのがベストなのか迷ってしまう。	無理強いすることなく、それぞれを尊重しながら利用者様同士で歩み寄っていけるような環境作りを心掛けていく。
3	セルフプランのご家庭が多く、保護者様との意見の相違があった場合、気軽に相談できる窓口がない。	保護者様からは、相談員不足でセルフプランになったとお聞きしている。 相談員は必要ないと感じている保護者様もいる。	他デイを利用している利用者様であれば、そのデイと連絡を取り合い、情報共有をおこなう。 将来的には相談事業所と関わりを持っていただけるようサポートしていく。